

宮城県感染症発生動向調査情報

令和04年12月15日発行

2022.12.5 ~ 2022.12.11 - 第49週 -

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第46週	第47週	第48週	第49週
水痘	1 0.25			1 0.13		4 0.15	6 0.10	255				
流行性耳下腺炎						1 0.04	1 0.02	74				
感染性胃腸炎	12 3.00	30 3.00	14 2.00	10 1.25		82 3.04	148 2.55	10,183	◎	◎	◎	◎
手足口病	3 0.75	8 0.80	2 0.29			2 0.07	15 0.26	5,095	レ			
伝染性紅斑							0 0.00	48				
突発性発しん	1 0.25		2 0.29	2 0.25		7 0.26	12 0.21	1,084				
ヘルパンギーナ							0 0.00	820				
インフルエンザ	1 0.14	1 0.06			3 0.75		5 0.05	108		○		レ
咽頭結膜熱			1 0.14			3 0.11	4 0.07	291				
流行性角結膜炎		1 0.33				1 0.17	2 0.17	82				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50	3 0.30				7 0.26	12 0.21	558				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	5				
無菌性髄膜炎							0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	29				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	34 8.50	17 1.70	9 1.29	5 0.63		28 1.04	93 1.60	1,625	◎	◎	◎	◎
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)											
	川崎病											
	不明発疹症					6						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))
大崎管内 男性1名(第48週)
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 男性1名, 女兒1名※

3類感染症: 報告なし

4類感染症: つつが虫病
塩釜管内 女性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 女性1名(*Enterobacter cloacae*)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性1名(第38週), 男性1名

新型コロナウイルス感染症(患者総数)
宮城県(仙台市を除く) 12,395名
仙台市 11,348名

※女兒は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より
石巻管内 第49週採取分 SARS-CoV-2 30件
気仙沼管内 第49週採取分 SARS-CoV-2 5件

呼吸器感染症患者より
気仙沼管内 第47週採取分 パラインフルエンザウイルス3型 1件

インフルエンザ患者より
気仙沼管内 第49週採取分 インフルエンザウイルスAH3 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 報 告		
	第46週採取分 (11.14~11.20)	中 間 報 告 第47週採取分 (11.21~11.27)	第48週採取分 (11.28~12.4)
RSウイルス	3件	2件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症】

県内の新型コロナウイルス感染症患者報告数は12月14日に過去2番目に多い4,704人となりました。最近の動向を1週間あたりの推移で見ると第47週23,559名、第48週23,104名、第49週23,743名となり横ばいで推移しています。県内では、「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」が発令中ですので、医療機関の負荷軽減と感染抑制のためのご協力をお願いします。宣言内容の詳細については、下記URLをご参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/index.html>

【冬季に流行する感染症】

冬季はインフルエンザ、RSウイルスなどの呼吸器感染症が流行します。今の時期は空気が乾燥するために、気道粘膜の防御機能が低下することも感染拡大の要因と考えられています。県内では8週連続でインフルエンザ患者が報告されており、保健環境センターでは第49週にA型インフルエンザウイルスが検出されています。RSウイルス感染症は第42週以降、過去5年の同時期と比較して患者報告数が多い状況が継続しており、仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの検出が続いています。

また、冬季はノロウイルス等を原因とする感染性胃腸炎の流行のピークでもあります。県内で集団発生の報告はありませんが、患者報告数は増加傾向にあるので、併せて今後の動向に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

